

特定行為区分	創部ドレイン管理関連		時間	5
特定行為名	(A) 創部ドレインの抜去			
学ぶべき事項	(共通) 創部ドレイン管理関連の基礎知識	1. 創部ドレナージに関する局所解剖 2. 創部ドレナージを要する主要疾患の病態生理 3. 創部ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント 4. 創部ドレナージの目的 5. 創部ドレナージの適応と禁忌 6. 創部ドレナージに伴うリスク（有害事象とその対策等）		
	(A) 創部ドレインの抜去	1. 創部ドレインの抜去の適応と禁忌 2. 創部ドレインの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等） 3. 創部ドレインの抜去の方法と手技		
研修概要	(共通) 創部ドレイン管理関連の基礎知識	創部ドレインの必要性やその特徴を理解し、創部ドレインの抜去を実践できる看護師を養成する。		
	(A) 創部ドレインの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（排液の性状や量、挿入部の状態、発熱の有無等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、創部に挿入・留置されている状況又は患者の状態が長期にわたって管理され、安定している状況において、創部へ挿入・留置されているドレインを抜去する。抜去部は、開放または閉塞性ドレッシング剤の貼布を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。		
到達目標	1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、創部ドレインの抜去ができるようになる。			
	2. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。			
	3. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。			
	4. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	試験：eラーニング上もしくは集合で修了試験を実施			
研修内訳	講義（5時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	試験	※修了試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください		

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	通番
(共通) 創部ドレイン管理関連の基礎知識	創部ドレナージに関する局所解剖、適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	1
	創部ドレナージを要する主要疾患の病態生理、フィジカルアセスメント、創部ドレナージの目的	川口 晃	長浜赤十字病院 救急部	講義	2
(A) 創部ドレインの抜去	創部ドレインの抜去の適応と禁忌	須原 貴志	下呂市立金山病院 院長	講義	3
	創部ドレインの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等）	豊田 泉	岐阜県総合医療センター救命救急センター	講義	4
	創部ドレインの抜去の方法と手技	須原 貴志	下呂市立金山病院 院長	講義	5